

大雨による松川浦の淡水化とアサリ養殖への影響

福島県水産試験場相馬支場

1 部門名

水産業—その他—水温・塩分量、アサリ

2 担当者

成田 薫

3 要旨

2015年9月6～11日に相馬市で期間積算降水量300mmを超える大雨があった。淡水の影響により松川浦のアサリ養殖への被害が懸念されたため、湾口部で環境測定を行い、アサリ漁場の観察を行った。懸念されるアサリの大量へい死は確認されなかった。今後の大雨等同様の状況下において参考にするため、塩分等環境データを整理した。

- (1) 9月6～11日の6日間で338mmの降水量があった。松川浦湾口部(棚脇前・海底より約1m中層)に設置したロガーから塩分は9月8日から急速に低下し、9月9～13日まで断続的に10%を下回る状況が継続した。これと同時に水温は著しく上下に変動した。以降、塩分、水温とも徐々に大雨以前の変動に回復した。
- (2) 9月11～14日の日中に1時間(9月11日)または4時間(9月12～14日)ごとに松川浦湾口部底層の塩分と水温を計測した。ともにロガー値と同調して上下に変動し、底層の塩分はロガー値と同様のレベルで低下していた。
- (3) 9月14日に松川浦内の主要アサリ漁場4ヶ所において目視観察を行い、生息状況とアサリへい死個体の有無を確認した。いずれの漁場でも大雨前と同様と思われる密度でアサリの生息状況を確認したが、少数のへい死個体も確認された。へい死個体は、殻長32～51mmで成員のうちでも大型個体のものが多かった。

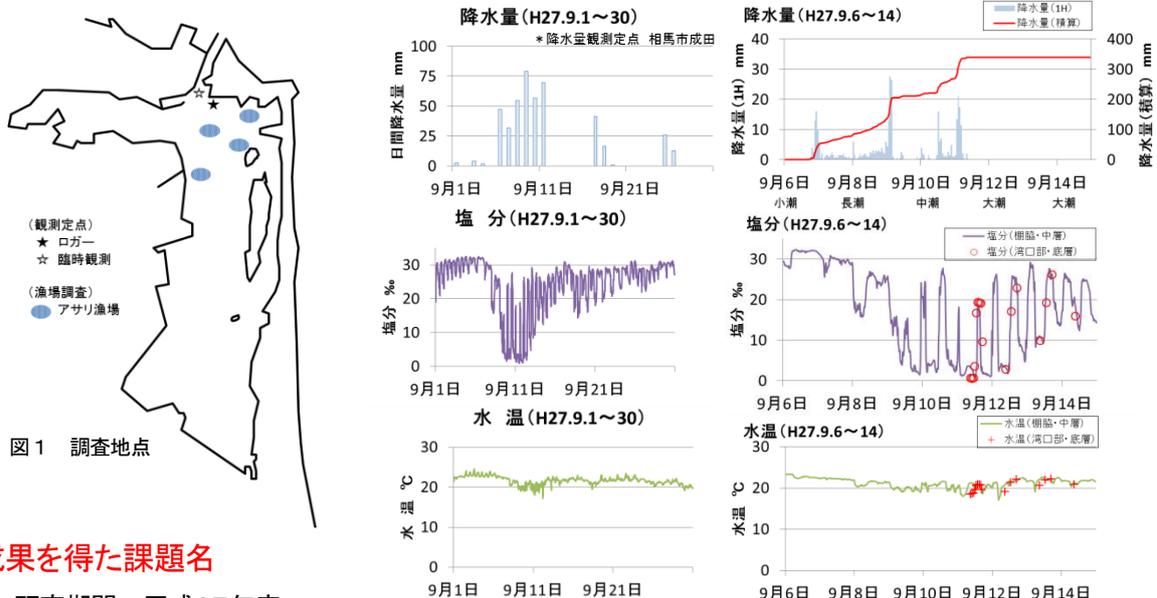


図1 調査地点

図2 観測データ

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成27年度
- (2) 研究課題名 松川浦の増養殖の安定化に関する研究
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

- (1) 福島県水産試験場研究報告第14号



図3 へい死したアサリ H27.9.14